

## 南蔵王夏山開き登山



▲気持ちの良い登山になりました

6月3日、南蔵王夏山開き登山が行われました。毎年白石市と合同で行われる夏山開き登山ですが、今年は七ヶ宿町の南蔵王登山口からのスタートとなりました。県内外から約30人の参加者は安全祈願の後、刈田峠までのおよそ12kmの道のりを歩きました。当日は天候に恵まれた登山日和で残雪も少なく、沢山の高山植物が見頃を迎えており、峰々の広大な景色と可憐に咲く花々を存分に満喫した登山になりました。

## 県庁販売会開催



▲県庁販売会の様子

6月4日から6月8日までの5日間、宮城県庁ロビーで「食材王国みやぎ～地場産品展示即売会～」が開催されました。町で採れた新鮮な野菜や山菜、町が誇るブランド品などを販売しました。販売者の方から野菜や山菜の「ふき」「みず」「わらび」などを美味しく食べられる調理方法を熱心に聴かれる方も多く、大変喜ばれていました。以前から町を知っている方や町に関心を持ち来てくれた方など多くの方で賑わった県庁販売会となりました。

## 交通死亡事故ゼロ1,000日間達成！



▲宮城県知事「褒状」伝達式

6月5日、交通死亡事故ゼロ1,000日間達成に伴う宮城県知事褒状伝達式が行われました。平成27年9月以降交通死亡事故が発生しておらず、6月2日で1,000日間を達成しました。町長は「近年113号は通行量が増加しているが、過去には4,000日間を達成したこともある。今後も記録を継続していくため町民の皆様、関係団体の方々の交通安全に対するご理解とご協力をいただき安心安全な町にしていきたい」と決意を述べていました。

## 新しいはくあい号到着



▲はくあい号贈呈セレモニー

5月24日、災害時の救援活動の充実を図るため、災害救護等車両(愛称:はくあい号)を日本赤十字社宮城県支部より贈呈されました。当日は、社会福祉協議会において日本赤十字社宮城県支部事務局長、当分区長、当副分区長が出席のもと贈呈セレモニーが行われ、レプリカの鍵が手渡されました。贈呈されたはくあい号は、社会福祉協議会に配備され災害時のみならず、平時からも地域福祉、健康増進の活動に活用されます。

## ふくしの心めばえ事業



▲ドラムの音に合わせてリズム遊び

5月25日、関保育所を会場に社会福祉協議会主催の「ふくしの心めばえ事業」が開催されました。幼い頃から色々な人との触れあいや共感し合う体験を通して、障害のある人への理解を深め、将来福祉や介護に関心のある人を増やすことを目的に行われています。盲目のドラマー佐藤尋宣さんとシンガーソングライター佐藤千嘉さんを迎え、ドラムを使ったリズム遊びやペアドン(盲目のくま)の生活紙芝居、外遊びなどで交流を楽しみました。

## しちかしゆく自然体験開催



▲七ヶ宿の自然を楽しみました

5月26日、七ヶ宿の自然を体験する「しちかしゆく自然体験」が行われ、仙台などから8組23名が参加し、春山散策や田植えなどを体験しました。春山散策では、田んぼの周辺を散策し、きれいな水場に生息しているホタルなどの話を聞きながら、七ヶ宿の自然を感じていました。田植えでは、大人も子どもも泥だらけになりながら丁寧に苗の植え付けを行い、七ヶ宿の自然を満喫していました。